

3つの常任委員会では、所管事務調査で専門的な調査を実施しました。また、先進的な取り組みをしている自治体を視察しました。

総務文教委員会

所管事務調査 ●富士宮市の人口ビジョン

【松永孝男 委員長のコメント】

富士宮市人口ビジョンは、人口減少による消費や経済力の低下を防ぐために、東京一極集中を是正し、若い世代の結婚、子育ての希望を実現し人口減少を最小限に抑えることを目的としています。

富士宮市の人口はこのまま放置すると、2060年には8万6千人にまで減少すると予測されています。2060年の人口目標11万人を確保するため、移住定住の促進や企業誘致・企業支援事業により人口流出の抑制と働き場の確保を図り、子育て応援事業や子ども医療費助成事業などにより結婚・出産・子育ての希望を支援し、世界遺産センターから浅間大社までの参道と構成資産の整備、農畜産物や地酒による食のまちづくりなどの地域活性化事業を進めています。人口減少問題は行政や一部の関係者だけでなく社会全体の課題です。市民の皆様と共有しつつ事業の進捗状況と効果を検証していきます。

先進地域視察

- 羽曳野市…義務教育学校（9年制の小中一貫校）「はびきの殖生学園」について
- 京丹後市…ライドシェア型公共交通「ささえ合い交通」について

【松永孝男 委員長のコメント】

義務教育学校では、生徒一人一人の個性に合わせ9年間を計画的に指導し、1年生から9年生まで縦割りの共同作業を行うことにより不登校やいじめの原因をなくし、人間的にも学力的にも滑らかな成長が期待できます。これからも、それぞれの地域の特性を活かし、子どもたちの希望や能力を最大限に育てるために義務教育学校を委員会として調査していきます。京丹後市の「ささえ合い交通」はスマートフォンを使い、誰でもすぐに安い料金で利用でき、また運転者も地域の顔見知りなど安心感もあり、少子高齢化が加速する過疎地域の公共交通として大変に有効です。富士宮市でも、バスやタクシーなど現行の公共交通では対応しにくい市街地から遠い地域を対象に、お年寄りや学生たちの生活の足として検討していきます。



▲ライドシェアの取り組みについて説明を受ける



▲京丹後市丹後庁舎にて